

研究成果の紹介

1 普通大麦の新認定品種「シュンライ」

ねらいと成果

本県の大麦（皮麦）奨励品種は、二条大麦の「カワホナミ」と「関東二条2号」が作付面積の減少により平成5年に取り消されてから指定されていない。しかし、大麦には、小麦に比べて早熟であるなどのメリットがあること、製茶用として安定した需要もあることから、水田冬作の土地利用型作目の選択肢として、大麦奨励品種の選定が望まれてきた。

そこで、奨励品種決定調査で有望品種・系統の栽培特性・収量・品質の比較検討を行い、良質多収で栽培特性のよい「シュンライ」を認定品種に選定した。

内容

「シュンライ」は、「イチバンボシ」に比べて出穂期で8日、成熟期で3日程度遅く、「シロガネコム

ギ」より出穂期で6日、成熟期で11日程度早い六条大麦品種である。「イチバンボシ」より稈長は長く、穂長は短い。また、穂数は少ない。倒伏の発生程度は同程度で、耐倒伏性は強い。赤かび病の発生はやや多い。

普通大麦として収量は十分であり、品質は中位である（表）。

普及上の注意事項

県南部平坦部に適する。湿害には強くないので、排水良好地を選び、ほ場の排水対策は十分に行う。極端な多肥栽培は避ける。

うどんこ病・赤かび病には強くないので、適期防除に留意する。

澤田 富雄（中央農技・作物部）

表 中央農業技術センター（加西市）における成績（生産力検定調査）

品種名	試験年次	播種期	出穂期	成熟期	障害の多少			稈長	穂長	穂数	全重	子実重	同左比率	容積	千粒重	品質	検査等級
					倒伏	赤さ	赤かび病										
	年	月日	月日	月日				cm	cm	本/m ²	kg/a	kg/a	%	g/l	g		
標準肥																	
シュンライ	96	11.13	4.14	5.24	0.0	0.0	0.4	89	4.7	469	105	46.6	98	618	35.0	3.4	1下
比)イチバンボシ	-98	11.13	4.6	5.21	0.0	0.0	0.2	80	5.1	632	119	48.7	100	794	31.4	4.1	2上
参)シロガネコム		11.13	4.20	6.4	0.0	1.7	0.9	77	7.2	748	134	56.5	116	804	34.7	4.4	2中
多肥																	
シュンライ	97	11.10	4.13	5.23	0.5	0.0	0.8	93	4.8	512	114	46.7	84	621	32.8	4.5	1下
比)イチバンボシ	-98	11.10	4.5	5.21	0.5	0.0	0.3	84	5.3	616	127	53.4	100	810	31.2	3.3	2上
参)シロガネコム		11.10	4.20	6.4	1.3	0.7	1.3	80	7.6	794	151	62.4	100	810	34.9	5.6	2下

注) 障害の多少は無(0)～甚(5)の6段階、品質は1(上上)～4(中中)～6(下)を示す。検査等級は神戸食糧事務所社支所調べ。普通大麦・小麦は300、裸麦は330粒/m²の耕起散播。標準肥区の窒素施肥は播種前日、1月下旬、2月下旬に、それぞれ0.6、0.2、0.3、多肥区は同じく0.9、0.3、0.4kg/a。